



<ルカによる福音書 第1章46節～56節>

マリアの賛歌

- i6そこで、マリアは<sup>い</sup>言った。
- 47「わたしの<sup>たましい</sup>魂<sup>しゆ</sup>は主をあげ、  
わたしの<sup>れい</sup>霊<sup>すくぬし</sup>は救い主である神を<sup>かみ</sup>喜び<sup>よろこ</sup>たたえます。
- 48身分の低い、この主のはしためにも  
<sup>めと</sup>目を留めてくださったからです。  
<sup>いま</sup>今<sup>のち</sup>から後、いつの世<sup>よ</sup>の人も  
わたしを<sup>さいわ</sup>幸いな者<sup>もの</sup>と言うでしょう、
- 49力<sup>ちから</sup>ある方が、  
わたしに<sup>いだい</sup>偉大なことをなさいましたから。  
その御名<sup>みな</sup>は尊<sup>とうと</sup>く、
- 50その憐れみ<sup>あわ</sup>は代々に限りなく、  
主を畏<sup>しゆ</sup>れる者に及<sup>およ</sup>びます。  
主は<sup>しゆ</sup>その腕<sup>うで</sup>で力<sup>ちから</sup>を振<sup>ふ</sup>るい、
- 51思い上がる者<sup>おも</sup>を打ち散<sup>もの</sup>らし、  
権<sup>けん</sup>力<sup>りよく</sup>ある者<sup>もの</sup>をその座<sup>ざ</sup>から引き降<sup>ひ</sup>ろし、
- 52身分<sup>みぶん</sup>の低い<sup>ひく</sup>ものを高<sup>たか</sup>く上<sup>あ</sup>げ、  
飢<sup>う</sup>えた人<sup>ひと</sup>を良<sup>よ</sup>い物<sup>もの</sup>で満<sup>み</sup>たし、
- 53富<sup>と</sup>める者<sup>もの</sup>を空腹<sup>くうふく</sup>のまま追<sup>お</sup>い返<sup>かえ</sup>されます。  
その僕<sup>しもべ</sup>イスラエル<sup>う</sup>を受け入れて、
- 54憐れみ<sup>あわ</sup>をお忘<sup>わす</sup>れになりません、
- ii5わたしたちの先祖<sup>せんぞ</sup>におっしやったとおり、  
アブラハムとその子孫<sup>しそん</sup>に対して<sup>たい</sup>とこしえに。」